



## 新春を迎えて

愛知県知事 大村秀章

あけましておめでとうございます。  
新たな年が、県民の皆様にとりまして素晴らしい年となりますよう、心からお祈り申し上げます。  
昨年は、新型コロナウイルス感染症が、県民の皆様のご生活や経済活動に大きな影響を与える

中、安心な日常生活と活力ある社会経済活動を取り戻していくため、オール愛知で一丸となって、感染症の「克服」に向けた取組を進めてまいりました。

こうした中でも、ジブリパークの整備推進、世界最高クラスのアリーナとなる愛知県新体育館、国内最大のスタートアップ支援拠点「STATION Ai」の整備着手など、感染症克服後を見据え、将来にわたって、日本の成長をリードし続ける愛知を形作っていくよう、愛知を「前進」させた1年となりました。

世界は、グローバル化の進展やそれに伴う感染症リスクの増大、デジタル技術の急速な発展などにより、加速度的な変化を遂げています。今後も、愛知が日本の成長エンジンとして、我が国の発展を力強くリードしていくためには、そうした変化に的確に対応し、イノベーションを巻き起こしていかなければなりません。

今年も、国内外の優れたスタートアップと地域のモノづくり企業と

のオープンイノベーションにより、イノベーションが次々と創出される、愛知独自のスタートアップ・エコシステムの形成を促進するとともに、海外先進地域との連携を深め、世界に例を見ないグローバルなイノベーション創出拠点の形成を目指します。

また、リニア大交流圏を見据えた社会インフラ整備、農林水産業の振興、教育・人づくり、女性の活躍、医療・福祉、環境、雇用、多文化共生、防災・交通安全、東三河地域の振興など、県民の皆様のご生活と社会福祉の向上にもしっかりと取り組んでまいります。

今年7月には、3年に一度の国際的な現代アートの祭典、国際芸術祭「あいち2022」を開催します。秋にはいよいよ、ジブリパーク全5エリアのうち、「青春の丘エリア」「ジブリの大倉庫エリア」「どんどこ森エリア」の3エリアが開業します。愛知の魅力を高める取組を着実に進め、国内外での愛知のプレゼンスをより一層高めてまいります。

2022年は、1872(明治5)年に現在の愛知県が誕生してから、150周年にあたる記念すべき年です。県民の皆様、郷土への愛着と誇りを改めて持っていただき、そして、将来も愛知県に住み続け、愛知をより良くしていきたいと思っただけでいいように、今年も全力で取り組んでまいりますので、一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。  
2022年元旦



## 理事長あいさつ

愛知県母子寡婦福祉連合会 理事長 中條里枝

皆様には、日頃からひとり親家庭及び寡婦の福祉についてご理解とご協力を頂き、厚くお礼を申し上げます。

全世界が新型コロナウイルス感染症という、未知のウイルスに襲われ三年目となりました。

ワクチン三回接種も多くみえる事と思いますが、未だ、七波がくるのではと、予断を許さない状況、ひとり親家庭、寡婦会の活動は、自粛、制限され、社会環境も随分様変わりました。

そんななかにおいても県母連事務局には、昨年同様、ひとり親家庭に、明るい笑顔と元気を届けたいという、温かいご厚情を沢山頂いています。大勢の方々から頂いた寄贈品に笑顔と元気を、の思いを、

今年も梱包、配送作業にと、事務局頑張っています。

この苦しい不況下に、未だに大勢の温かい人々の気持ち、応援を頂き心強く、ひとり親家庭が乗り越えられる為に今出来る事、新しい日常を、意識しながら、励まし合って精一杯、行っていきたくと思います。

廃墟の中から、戦後立ち上がった七十二年という、歴史ある愛知県母子寡婦福祉連合会と、太いパイプで結ばれている、ひとり親家庭の皆様、寡婦の皆様と揺ぎない「絆」これからの未来を切り拓き、後を紡いでくださる様、期待します。

最後になりましたが、日頃から深いご理解とご高配を頂いています、県、市、区、町の行政をはじめ関係機関の皆様にご感謝申し上げます。